

京都混声合唱団 特別演奏会

祝！京都市立芸術大学音楽学部 創立50周年

MISSA SOLEMNIS BEETHOVEN

荘 嚴 ミ サ

2002年8月31日(土) 開演 15:30

京都コンサートホール〈大ホール〉

主 催 京都混声合唱団
後 援 京都市・(財)京都市芸術文化協会・京都府合唱連盟
マネージメント (財)京都市音楽芸術文化振興財団



芸術文化振興基金助成事業

ご挨拶

なお厳しい残暑が続きます中、本日は私共の特別演奏会のご来場頂き、誠に有り難うございます。

「荘厳ミサ」曲の冒頭にベートーヴェンは「心より出ず、願わくば再び心に入らんことを」と記しています。私共はこの言葉をじっくりとかみ締めて歌います。その気持ちをお聴き頂く皆様にお伝えし、新しい世紀に入っても何かと騒がしい出来事の多いこの世の中で、安らぎの一時をお過ごし頂ければと願っております。

本日の特別演奏会を、京都市立芸術大学音楽学部創立50周年の期に催すことができますことは、私共にとって大きな喜びでございます。京都混声合唱団は永年、多岐にわたり同学部の関係各位に一方ならぬお力添えを賜ってまいりました。そして今回、同学部ご出身の阪 哲朗氏・ソリストの方々、卒業生在学生の皆様とご一緒に、この壮大な名曲「荘厳ミサ」を歌い上げるにより、共に心からお祝いしたいと存じます。

何時もご後援を頂戴いたします京都市・京都市文化芸術協会・京都府合唱連盟および力強いご支援を頂く京都市交響楽団に厚く御礼申し上げます。

「京混」は、これからも音楽を愛する皆様のお励ましにより、精進を重ね成長を遂げてまいります。今後とも、かわらぬ温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2002年8月31日

京都混声合唱団

祝辞

京都市立芸術大学

音楽学部長 岸 邊 百百雄

京都混声合唱団特別演奏会の開催を、心からお慶び申し上げます。

ベートーヴェン晩年の大作であり、又、極め付きの難曲でもあることから演奏されることの少ない、「ミサ・ソレムニス」を取り上げられたことに深い敬意を表します。本日は指揮者の阪 哲朗、4人の独唱者に加え、合唱のメンバーとして多くの本学卒業生が参加させて頂いております。又、在学生達も、この滅多にない貴重な機会に向けて練習を続けて参りました。

京都市立芸術大学音楽学部は、本年、前身に当る京都市立音楽短期大学の開設から数え、50周年という節目の年を迎えております。秋には、弦楽オーケストラのドイツ公演、記念演奏会の開催等、幾つかの記念事業を行う予定がありますが、本日の特別演奏会のサブ・タイトルを、祝！京都市立芸術大学音楽学部創立50周年、として祝って頂きますことに対し、心から御礼申し上げます。

この記念すべき年を契機に、創立以来、音楽学部の成長を暖かく見守り続けて下さった京都市民、京都の音楽関係者の皆様方のご期待に応え、世界に向け、京都から国際的に通用する優れた音楽文化を発信することの出来る音楽学部を目指して、努力を続けて参る所存でございます。今後共、何卒、ご支援、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

本日は久しぶりに「ミサ・ソレムニス」をコンサートホールで聴かせて頂くことを、大変楽しみにしております。日頃のご精進の成果を十分に発揮され、貴合唱団の歴史の輝やかなしい1ページとなるような、素晴らしい演奏を期待致しますと共に、演奏会のご成功を心からお祈り申し上げます。

2002年8月

荘 厳 ミ サ MISSA SOLEMNIS
BEETHOVEN

第1章 Kyrie (あわれみの賛歌) 第4章 Sanctus (感謝の賛歌)
第2章 Gloria (栄光の賛歌) 第5章 Agnus Dei (平和の賛歌)
第3章 Credo (信仰宣言)

指 揮 阪 哲 朗

ソプラノ 菅 英三子 テノール 北村 敏則
アルト 福原 寿美枝 バ ス 宇野 徹哉

合 唱 京都混声合唱団 コール真声会 京都市立芸術大学音楽学部在学学生有志
管 弦 楽 京都市交響楽団
オルガン 大代 恵
合唱指導 蔵田 裕行

※本日使用の楽譜はヘンレ原典版です。



阪 哲 朗 指 揮

京都市出身。京都市立芸術大学作曲専修にて、廣瀬量平氏らに師事。卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科にて、K.エステルライヒャー、L.ハーガー、湯浅勇治の各氏に師事。同音大のコンサートやオペラ公演等を指揮。

1992年よりPMF音楽祭(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)にアシスタント・コンダクターとして参加し、1994年にはPMF演奏会に出演。1992年、スイス(バルン州)ビール市立歌劇場専属指揮者に、また1996年には同歌劇場の専属第一指揮者に就任。多数のオペラのほか、同歌劇場ガラ・コンサート、ビール響定期演奏会、スイス・日本友好コンサート「ベートーヴェン第九演奏会」等を指揮。1995年、「第44回ブザンソン国際指揮者コンクール」で優勝。その後、フランス国立トゥールーズ市管、マルセイユ・オペラ座管等、ヨーロッパや国内のオーケストラを精力的に指揮。1997年、フランデンブルグ歌劇場専属第一指揮者に就任、スイスからドイツに本拠を移す。また、ヒューストン交響楽団定期演奏会に招かれ、アメリカデビューを果たす。1998年、ベルリンのコミッシェ・オーパーで「ラ・ボエーム」を指揮。1998年/1999年のシーズンより、同歌劇場専属指揮者に就任。1999年、H. クプファーの新演出による「天国と地獄」プレミエ、R. ヴェルロック新振付によるバレエ「リーズの結婚」プレミエを任せられたほか、同年4月には同歌劇場デンマーク公演で、グルク「オルフェオとエウリディーチェ」を指揮。現在までに約15演目を指揮、好評を得ている。2000年4月にはA. ホモキ演出「ファルスタッフ」再演を担当、同年11月、フランクフルト歌劇場管

の定期公演に指揮者急病のため、代役デビュー。2001年には「リゴレット」のプレミエも大成功を収めた。今年2~3月の「ファルスタッフ」でウィーン・フォルクス・オーパーにデビュー。今後もヨーロッパでの活動を中心に、各地のオーケストラ、オペラへの客演が予定されている。1996年京都府文化奨励賞、1997年ABC国際音楽賞、2000年京都市芸術新人賞の各賞を受賞。

プロフィール

菅 英三子 ソプラノ



京都市立芸術大学、ウィーン国立音楽大学を首席で卒業。京都市音楽家協会賞、オーストリア共和国学術褒賞、宮城県芸術選奨、文化庁芸術祭賞新人賞、新日鉄音楽賞、出光音楽賞、青山音楽賞等を受賞。アルフレード・クラウス国際声楽コンクール第二位、ウィーン新進オペラ歌手コンクール第一位、藤沢オペラコンクール第一位及び福永陽一郎賞受賞。海外では、ドイツ、オーストリア、スペイン、アメリカ各地にて演奏会に出演、またブラハ国立歌劇場、ブルノ国立歌劇場、プレーマーハーフェン市立劇場、フロリダ・パームビーチ・オペラ、バートヘルスフェルト夏季音楽祭、ガルス夏季音楽祭等のオペラ公演に出演。日本では、サイトウ・キネン・オーケストラ、NHK交響楽団他、全国の主なオーケストラと共演、また各地でリサイタルを行なっている。2002年は、群馬交響楽団定期演奏会、ブラハ室内管弦楽団日本公演、パシフィック・ミュージック・フェスティバル演奏会、日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会、及び同「第九」演奏会、ハンガリー国立歌劇場日本公演等に出演の他、全国各地でリサイタルやコンサート活動を行なう。現在、京都市立芸術大学助教授。

福原 寿美枝 アルト



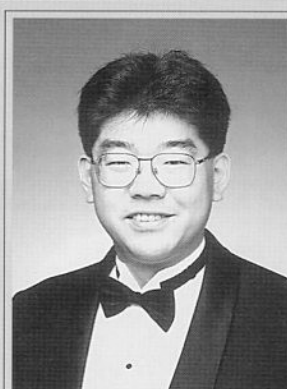
京都市出身。京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒業。卒業時に音楽学部賞受賞。同大学大学院音楽研究科修了。1998年友愛ドイツリートコンクール第2位。2000年度日本音楽コンクール入選。二度のジョイントコンサートをはじめ、オペラでは、モーツァルト「コシ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ役、同「魔笛」侍女Ⅲ役、ヴェルディー「椿姫」アンニーナ役、メノッティ「領事」母親役、同「アマールと三人の王様」母親役、クルト・ワイル オペラ付きバレエ「七つの大罪」アンナ役等に出演。神戸アーバンオペラ、伊丹オペラ ビゼー「カルメン」ではタイトルロールを歌い好評を博す。また、バッハ「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、同「マニフィカート」、同「ロ短調ミサ」多数の「カンタータ」、ヘンデル「メサイア」、同「Dixit Dominus」、モーツァルト「レクイエム」、同「戴冠ミサ曲」、同「ミサ・ロンガ」、ロッシーニ「小狂戯ミサ」、ドヴォルザーク「スタバート・マーテル」、ベートーヴェン「第九」等多数のアルトソノ、ブラームス「アルト・ラフノディー」、マラー（シェーンベルク編曲）「大地の歌」のソリストを務める。2000年10月日演連主催で初リサイタルを開催好評を博す。曾我淑人、正木真理、故永田綾子、三井ツヤ子の各氏に師事。現在、神戸フォーレ協会会員、神戸市混声合唱団団員。

北村 敏則 テノール



京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学院修了。ウィーン留学。音楽学部賞及び大学院賞を受賞。第2回日本シューベルト協会（J.S.G.）国際歌曲コンクール第1位及び聴衆審査特別賞受賞。第6回ポルトゥアーノ（北イタリア）歌曲コンクール第1位及びアダ・ヴェルバ賞受賞。第1回青山音楽賞受賞。'95年度京都市芸術新人賞受賞。佐々木成子、蔵田裕行、故E. ヴェルバ、K. エクヴィルツの各氏に師事。'94年姫路城世界文化遺産指定記念イベントオペラ「お夏・清十郎」の清十郎役に抜擢されオペラデビューを果し、以降「魔笛」のタミーノ、「こうもり」のアイゼンシュタイン、「ボヘム」のロドルフォ、「シンデレラ」の王子、「マルタ」のライオネル役と出演し好評を博した。ドイツ、オーストリア、イタリアでオペラ公演、リサイタルを開催し又、国内各地でもコンサートやオラトリオ「四季」「天地創造」「メサイア」、「カルミナ・ブラーナ」等のソリストとして活躍。創作歌曲にも精力的に取組み新曲を紹介している。とりわけバッハ「ヨハネ受難曲（H. リンク指揮）」、「マタイ受難曲」のエヴァンゲリストとして高い評価を得ている。'00年7月には東京芸術劇場にてマタイ受難曲を歌いP.シュライアーの再来と絶賛され熱狂的な支持を得た。現在、シューベルト協会会員、京都市立芸術大学専任講師。

宇野 徹哉 バス・バリトン



京都市生まれ。京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒業。卒業時に京都音楽協会賞を受賞。ベルリン芸術大学（H. d. K. Berlin-旧西ベルリン）卒業。第2回飯塚新人音楽コンクールで第3位を受賞。第1回日本シューベルト協会（J. S. G.）国際歌曲コンクールで第1位を受賞。1984年、同年度の文化庁芸術家国内研修員として関西二期会に在籍し、オペラ公演「真夏の夜の夢」（プリテン作曲）のピーター・クインズ役でオペラデビュー。また留学中の1987年に一時帰国し、日生劇場オペラ公演「魔笛」のザラストロを演じ高い評価を受けた。帰国後は活動拠点を東京に移し、日生劇場オペラ公演やNASA主催のオペラ公演等で「フィガロの結婚」の伯爵・フィガロ・バルトロ、「コシ・ファン・トゥッテ」のグリエルモ・アルフォンソ、「ドン・ジョヴァンニ」のレポレロ、「魔笛」のザラストロ、「魔弾の射手」の隠者、「蝶々夫人」のボンゾ、「セヴィリアの理髪師」のバシリオ、「奥様女中」のウベルト、「電話」のベン、また邦人作品では「昔噺・人買い太郎兵衛」の太郎兵衛、「うたよみざる」の山一、「ワカヒメ」の前津屋、等を演じレパートリーとしている。コンサートの分野ではこれまでに4回のジョイントコンサートを開催した他、「マタイ受難曲」や「ヨハネ受難曲」、「メサイア」「天地創造」を始めとする教会音楽や「第九」のソリストとして活躍中である。蔵田裕行、佐々木成子、I. ハルトマン、A. ライマン、F. マウスの諸氏に師事。現在、二期会会員。洗足学園大学講師。

時を超えた、平和への祈り —ベートーヴェン「荘厳ミサ」を歌う—

牧 マリ子

「ああ、私には自分に課せられたと感じるすべてのものを創造するまでは、この世を去ることは出来ないように思えた」
〔「ハイリゲンシュタットの遺書」(斎藤博之訳)より〕

1792年晩秋、生地ボンを発ってウィーンを目指したのは、前途洋々たる22歳の青年音楽家ベートーヴェンであった。程なくこの地で得た大ピアニスト、そして作曲家としての華々しい名声は、彼に自らの才能に対する絶大な確信と万能感をもたらしめた。しかし30歳を目前にした彼を追い詰め始める耳疾の徴候。音楽家として人より遙かに優れた聴覚の持主である自分が、事もあろうにそれを失わねばならぬことへの憤怒。彼は友人に書いた—「私は神を呪う。神は自分で創造したものをいい加減な偶然にさらす」「ああ、もう我慢できない。私は運命の喉元を捕えてやる。運命に押し潰されてなるものか」。しかし抗い得ぬ運命の力に遂に屈した彼が、絶望し死を思い、回復への最後の望みを託して滞在していた療養地ハイリゲンシュタットにおいてしたためた遺書の中で図らずも導かれたのは、たとえ如何なる外的な障害もそれを減らし得ない程の、自らの内なる強大な創造的エネルギーへの自覚と、それがもたらす揺ぎない自信による運命の受諾であり、これが冒頭に引用した言葉となったのであった。そして更に、遺書から25年を生きた彼がその57歳の生涯の最後に立ち到ったのは、死を3年後にして完成された交響曲第9番の第3楽章がくり広げる、苦悩を享受し得た者のみの遂に達し得る、あの清澄の境地なのであった。

「荘厳ミサ」は、第9交響曲の1年余り前、作曲者50歳前後の約4年間を費して完成された。作品誕生の直接の動機となったのは、敬愛する恩人ドルフ大公の、大司教への叙階式であった。しかし1820年に行われたその式典に全曲の完成は間に合わず、大公にはその3年後に献呈されたのであった。この事実も語る通り、筆を進めるうちに彼は直接の目的を失念したかの如くに、ミサの言葉に託して自己の信仰を吐露することに没頭していったと考えられる。友人シントラーも彼の熱中ぶりを証言しており、ベートーヴェン自身も「書き始めると次々と楽想が湧き、どの部分も思わず長くなってしまった」と述べたと言う。

酷い運命との格闘の果てに彼が自覚するに到った神、それはすべてをみそなわす絶対的な存在であった。一切はこの絶対者の意志のもとに在り、人間はただそれに身を委ね、神の慈悲に寄り頼む他ない無力な存在であった。「荘厳ミサ」にあるのは、この唯一絶対者を仰ぎ見る人間ベートーヴェンの、その生涯の最後に迎えるあの静かな法悦ではない、まだ余りにも痛切な求憐と信頼の、そして感謝と賛美の叫びであると言えるのではないだろうか。

この作品に没頭していた頃の彼は、甥カールとその母親に関する困難な訴訟問題、そして貧困、更に自身の健康の悪化により、その生活は正に惨苦を極めたと伝えられる。この大作の随所に見られるのは、これらの個人的体験を背後に感じざるを得ない程の、思わず胸打たれる彼の祈りの切実さであるが、それは楽譜の数カ所に記された彼自身の言葉によって、更に深く我々の心に響くものとなっている。先ず第1曲「Kyrie 主よ憐み給え」と第4曲「Sanctus 聖なるかな」の冒頭に記される「Mit Andacht 敬虔に」。ここにあるのは、ひたすら頭を低くして全能の主の憐みを願う彼の姿である。又、第2曲「Gloria 栄光あれ」において「父の右に坐し給う主よ、我らを憐み給え」を反復するその最後に彼が遂に付加するAh!の詠嘆。ミサ典礼文の変更は許されないことをも顧みず彼が加えたこの言葉こそは、正に「Ah! miserere nobis ああ! 我らを憐み給え」と激しく主に寄り縋らざるを得なかった程の、彼の苦悩の深さを如実に見せるものでもあろうか。

更に第5曲「Agnus Dei 神の小羊よ」。ここにも最後の1句「dona nobis pacem 我らに平安を与え給え」と歌い始める我々が目にするのは、そこに記された彼自身の言葉「Bitte um innern und äussern Frieden 心も周囲の状況も平穏であることへの願い」である。この言葉に託されたものの切実さ、それは「ängstlich 不安げに」との作曲者自身の指示により3人のソリストが次々に「Agnus Dei! 神の小羊よ!」と主を探し求める悲痛な叫び、そして合唱による「pacem! 平安を!」の執拗な反復によるその祈りの激しさによって我々に強く迫ってくるのであるが、やがてベートーヴェンの信仰は、全能者の意志に身を委ねる者の深い安らぎを得て、希望の光のうちに全曲を閉じるのである。

「Dona nobis pacem! 我らに平安を与え給え!」と切に祈るベートーヴェンの音楽の力に、京都混声合唱団は今日、地上の平和への強い願いを託したい。そして「歌は祈りを2倍にする」、中世から語り継がれるこの言葉を信じ、心を尽くして歌いたいと思う。

(団員、大阪音楽大学、華頂短期大学非常勤講師)

合唱出演者名簿

・賛助出演 ◎ヴォイストレーナー

京都混声合唱団

（Faded text listing members of the Kyoto Mixed Chorus Group）

（Faded text listing members of the Kyoto Mixed Chorus Group）

（Faded text listing members of the Kyoto Mixed Chorus Group）

（Faded text listing members of the Kyoto Mixed Chorus Group）


コール真声会

（Faded text listing members of the Choir True Voice Association）

京都市立芸術大学音楽学部在学学生有志

（Faded text listing interested students from the Kyoto Municipal University of Art and Music）

（Faded text listing interested students from the Kyoto Municipal University of Art and Music）



蔵田 裕行 合唱指導
 京都市立音楽短期大学(現京都市立芸術大学)卒業
 東京芸術大学音楽学部卒業、同大学院終了
 ヴィーン国立音楽大学リート科、オペラ科卒業
 京都市立芸術大学名誉教授
 同志社女子大学非常勤講師
 関西二期会常任理事
 日本シューベルト協会常任理事
 京都市文化功労者
 京都混声合唱団常任指揮者

練習ピアノ 宮北昌子



藤本口腔外科矯正歯科
 〒604 京都市中京区東洞院通四条上ル西入ル
 Phone. 075-222-2720
 FAX. 075-222-2720

お誂え服

丸治洋服店
 京・中京区寺町通三条上ル東側
 TEL&FAX (075) 231-4790番

くすりと健康の御相談は

株式会社 千カタ薬局

京都市中京区三条大宮東入 TEL.841-2048

子どもから大人まで！

日本棋院

藤田塾子ども囲碁教室

▼お稽古日 毎週水曜 (午後6:00~8:30)
毎週土曜(午後2:00~5:00) (午後7:00~9:00)

▼お稽古場所 (財)京都教育文化センター TEL 075-771-4221
京都市左京区聖護院川原町4-13【京大病院南正門前西】
京阪電車「丸太町」⑤番出口より東へ徒歩3分

▼お問い合わせ 090-9993-9402(代表 北野)

ただいま1ヶ月無料体験入学実施中!!

●学術集会 プログラム・抄録集・プロシーディング制作

進行印刷出版株式会社

京都市左京区一乗寺東閉川原町 19
TEL 075-711-5623 FAX 075-722-9062
E-mail: pshinko@pastel.ocn.ne.jp

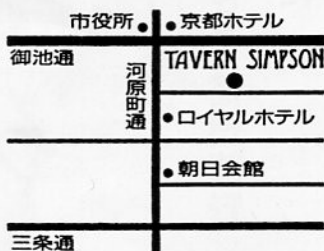
美容室アービル



Arville

本店 京阪三条南口 TEL 551-0155
北山店 松ヶ崎アピカルイン京都3F 702-4595

TAVERN SIMPSON



〒604-8006 中京区河原町御池下ル一筋目東入
PHONE 075-221-2760

割烹 蛸

八

TEL(231)2995

京都市中京区蛸薬師通新京極西入東側町498番地



うすくち

ほんのり

四季のいろ

城下町の面影を今も残す

うすくちのふるさと、播州龍野。

風の詩を子守歌に

ゆつくりと歳月に磨かれた

ヒガシマルのうすくちは

やさしい自然のおいしさ――

春夏秋冬それぞれの味わいを

色美しく引き立てます。



うすくち醤油発祥の地：兵庫県龍野市
ヒガシマル醤油株式会社